

公共調達監視委員会活動状況報告書

部局名 長崎労働局

1	開催日	<u>令和2年7月27日(月)</u>	
2	監視委員数	<u>委員長 堀江 憲二 弁護士</u> <u>委員 東 直美 公認会計士・税理士</u> <u>委員 福澤 勝彦 大学教授</u>	
3	審査対象期間	<u>令和2年1月1日～令和2年6月30日</u>	
4	審査契約件数		
	(1) 公共工事		
	①競争入札によるもの		
	・審査対象件数	<u>0 件</u>	
	・審議件数	<u>0 件</u>	
	うち、低入札価格調査の対象となったもの		<u>0 件</u>
	②随意契約によるもの		
	・審査対象件数	<u>0 件</u>	
	・審議件数	<u>0 件</u>	
	(2) 物品・役務等		
	①競争入札によるもの		
	・審査対象件数	<u>37 件</u>	
	・審議件数	<u>37 件</u>	
	うち、契約金額が500万円以上の案件		<u>14 件</u>
	うち、参加者が一者しかいないもの		<u>11 件</u>
	うち、契約の相手方が独立行政法人となったもの		<u>0 件</u>
	うち、委託契約金額に占める再委託金額の割合が2分の1を超えるもの		<u>0 件</u>
	②随意契約によるもの		
	・審査対象件数	<u>30 件</u>	
	・審議件数	<u>30 件</u>	
	うち、新規案件で競争性のない随時契約で調達しているもの		<u>2 件</u>
	うち、企画競争又は公募したが、参加者(応募者)が一者しかいないもの		<u>1 件</u>
	うち、契約の相手方が独立行政法人となったもの		<u>0 件</u>
	うち、委託契約金額に占める再委託金額の割合が2分の1を超えるもの		<u>1 件</u>

5 審査案件の抽出方法

全件を審査対象とした。

6 審査結果

不適切等と判断した件数

0 件

結果内容及び措置状況（具体的な内容を記載するとともに、審査を行った際の手書類も併せて提出すること。）

今回の公共調達監視委員会において不適切等と判断されたものなし。

7 審議の概要

(1) 物品・役務等の競争入札案件

(委員) No.26 の項目について、今回の落札率は 98.40%となっているが、同一落札業者の過去2年間をみると、66.60%と 70.82%となっているようだが、落札率が上昇した理由は何か。

(労働局) 今年度から事業の内容に「経験交流会の実施」が追加されたことにより、仕様書の変更を行い、仕様にあわせた予定価格の見直しを実施している。事業内容の変更が、今回の落札率に影響していると思われる。

(委員) No.15 の項目については労働局内の施設で使用する電気契約であるが、今年度、連続して同一業者(九州電力株)となった理由は何かあるのか。過去は、複数の電力会社が落札しているように見受けられる。

(労働局) 当該の電力会社は、過去は官公庁会計システムでの支払いができなかったこともあり、入札に参加していなかった。

また、平成30年度より支払い対応可能となり、入札に参加している。

なお、長崎労働基準監督署や佐世保労働基準監督署は合同庁舎であるが、そこで使用する電力についても、以前は九州電力株以外と契約していた。

(委員長) 物品・役務等の競争入札案件については、適正と判断する。

(2) 物品・役務等の随意契約案件

(委員) No.29 の建物賃貸借については、新型コロナウイルス感染症関係の業務のためと説明があったが、開設場所はどのあたりか。

(労働局) 当ビルの隣の隣、大樹生命ビル(旧三井生命ビル)の6階を借りています。

(委員長) 物品・役務等の随意契約案件については、適正と判断する。